

国産在来種クロマルハナバチ

アグリ・トップクロマルDX

デラックス

www.agrisect.com



商品外観



飼育時の巢内の様子

商品内容

創設女王バチ／働きバチ
卵・幼虫・蛹
装着蜜量：約2.5kg

商品外寸(cm)：幅31.5×奥行25.3×高さ25.8

本商品の北海道向け販売は行っておりません

施設栽培の頼もしい働き手。 多様な作物の授粉に大活躍！

- アグリ・トップクロマルDXは、弊社独自の技術で日本原産種のクロマルハナバチを国内自社工場で増殖した商品です。
- クロマルハナバチは比較的体が大きく、一度に多くの花粉を運びます。
- 訪花活動は休み休み、丁寧に行います。
- 雄バチが早い時期に出巣することがありますが、働きバチに影響はありません。

※クロマルハナバチは腹部の先端がオレンジ色です。雌バチ（女王バチと働きバチ）の体毛は黒色、雄バチの体毛は黄色で、胸部と腹部の中央に黒い帯があります。

- 利用可能期間：約6週

※飼養環境によって変わります。

- 1箱当たりの飼養施設面積の目安

大玉トマト（施設）：約300坪

ミニトマト（施設）：約250坪

ナス（施設）：100～200坪

イチゴ（施設）：約300坪

※栽植密度や栽培方法、品種、季節などによって変わります。

クロマルハナバチ利用の注意点

- 日本在来種なので外来生物法の手続きは不要ですが、野外逃亡防止のため、施設開口部にハチ逃亡防止用ネット（4mm目以下）をかみならず設置してください。また、設置したネットに隙間や穴が生じていないかを確認ください。
- 同じ施設内でアグリ・トップクロマルとセイヨウオオマルハナバチ商品を同時に使用しないでください（両方とも働けなくなります）。
- 紫外線カット率が高い被覆資材を展張した施設では活動しない場合があります。
- 商品使用後は、蒸し込みなどでハチを完全に死滅させてから適正に廃棄してください。

マルハナバチに対する農薬の残効期間もしくは影響の程度について

殺虫・殺ダニ剤

農薬商品名	残効期間
アクタラ粒剤5	21
アグリメック	7
アタブロン乳剤	4
アドマイヤー1粒剤	35以上
アニキ乳剤	1
アフーム乳剤	2
アブロード水和剤	1
アルバリン/スタークル顆粒水溶剤・粒剤	30以上
ウララDF	1
エコピタ液剤	乾燥後影響ない
オルトラン粒剤	30
オレート液剤	1
カウンター乳剤	3
カスケード乳剤	2
クリアザールフロアブル	乾燥後影響ない
グレーシア乳剤	1
コテツフロアブル	9
コルト顆粒水和剤	7
コロマイト（水和剤・乳剤）	3
サフオイル乳剤	乾燥後影響ない
サンマイトフロアブル	4
スターマイトフロアブル	1
スピノエース顆粒水和剤	7
ダニオーテフロアブル	乾燥後影響ない
ダニサラバフロアブル	1
ダブルシューターSE	3
ダブルフェースフロアブル	1
ダントツ水溶剤	長期間残効する可能性がある
チェス顆粒水和剤	乾燥後影響ない
ディアナSC	3
トランスフォームフロアブル	7以上
トリガード液剤	1
トルネードエースDF	6以上
ニッソラン水和剤	1
粘着くん液剤	乾燥後影響ない
ノーモルト乳剤	1

農薬商品名	残効期間
ハチハチ乳剤	5以上
バリアード顆粒水和剤	1
BT剤	乾燥後影響ない
ピラニカEW	1
ファインセーブフロアブル	1
フェニックス顆粒水和剤	1
プリファード水和剤	乾燥後影響ない
プリロン/粒剤オメガ	0
プレオフロアブル	乾燥後影響ない
プレバソフフロアブル5	1
ベストガード粒剤	30以上
ベネビアOD	1
ベリマークSC	1
マイコタール	乾燥後影響ない
マッチ乳剤	3
モスピラン粒剤	1
モベントフロアブル	長期間残効する可能性がある

殺菌剤

農薬商品名	残効期間
アフエットフロアブル	1
アミスター20フロアブル	1
アリエッティ水和剤	2
イオウフロアブル	乾燥後影響ない
インプレッションクリア	乾燥後影響ない
ダイアメリットDF	1
トリフミン水和剤	1
ネクスターフロアブル	1
パレード20フロアブル	乾燥後影響ない
パンチョTF顆粒水和剤	乾燥後影響ない
ピクシオDF	1
ファンタジスタ顆粒水和剤	乾燥後影響ない
プロパティフロアブル	乾燥後影響ない
ベジセイバー	乾燥後影響ない
ミギワ10フロアブル	乾燥後影響ない
モレスタン水和剤/パルミノ	5

●数字は日数を表します。**再導入は残効期間（「日数」×24時間）以上の期間を経てから行ってください。**

●表中の残効期間や影響の程度は目安です。農薬散布時の環境（展着剤、温湿度、天候、紫外線量、換気条件など）によって変化するので注意してください。

●本表は日本生物防除協議会、農薬メーカー、試験研究所などの情報に、弊社の知見を加えて作成しました。

※薬剤を散布する場合は、外箱の開口部（ふた、着地台、確認扉）を元に戻した状態で施設の外に出してください。

2026.02